

平成21年3月24日
南海電気鉄道株式会社

南海電鉄のエコポイントが3カ月で約137万ポイントに 約137万円を「大阪府 野生生物保護基金」に寄付しました

南海電鉄(社長: 亘 信二)では、今年度を初年度とする新3か年経営計画「堅進126計画」を策定し、その基本方針のひとつに「『環境保全』のための取り組み強化」を掲げ、各種環境活動を推進しています。

これまでに、当社の環境推進活動のシンボルとして「エコロゴマーク」を制定したのをはじめ、植林活動を行っている団体などへ寄付するための「エコポイント」の導入や環境社会報告書の発行など、多岐にわたる取り組みを行っています。

このたび、昨年10月から実施している「エコポイント」が、12月までの3カ月間で、約137万ポイントに達しました。当社では、このポイントを1ポイントあたり1円に換算し、約137万円を「大阪府 野生生物保護基金(大阪府みどりの基金)」に3月19日に寄付しました。

詳細は別紙のとおりです。



2008年にたまった
ミナピタエコポイント約137万ポイントは、
大阪府の自然環境保全に
役立てられます。

※休みには、
電車で乗って、
エコポイントを
エコポイントに。
エコポイントに。
エコポイントに。

たくさんの生きものを育む活動を応援します!
[大阪府 野生生物保護基金(みどりの基金)]への寄付を通じて、生き物を守り自然を大切にします。

土・休日には、
電車でなんば、
開空へ!

《ミナピタエコポイントについて》
土・休日(10:00~18:00)に、NANKAI(株)の各駅(当駅)に、乗車券を提示して、南海電鉄は、毎月1回、乗車券の金額に応じて、エコポイント(以下「エコポイント」)を付与します。1回1人あたり、1日最大100ポイント(1000円)まで付与されます。エコポイントは、乗車券の金額に応じて付与されます。また、エコポイントは、NANKAI(株)の各駅(当駅)に、乗車券を提示して、エコポイントに交換することができます。

<http://minapita.jp>

エコモーションなんかい
くらしの環境、なんばゆくとつながる

NANKAI

エコポイントの寄付についてお知らせするポスター(4月1日掲出開始)

< 別紙 >

エコポイントの実績報告と使用先について

1. 累計ポイント

1,374,204ポイント(平成20年10月~12月までの集計)

1回のご利用につき3ポイントのため、延べ458,068人のお客さまにご利用いただいたこととなります。

2. ポイントの使用先

「大阪府 野生生物保護基金(大阪府 みどりの基金)」への寄付

3. 寄付日

平成21年3月19日(木)

4. 制度の導入日

平成20年10月から(10月4日土曜日からポイント計上開始)

5. 制度の内容

お客さまが土・休日に minapita(PiTaPa)カード(南海電鉄の PiTaPa カード)もしくは KANKU CLUB カード(関西国際空港の PiTaPa カード)を利用して、南海難波駅または南海関西空港駅で乗車または降車すると、1回につき3ポイントを当社が「エコポイント」として計上します。一定量が貯まった時点で、1ポイント=1円に換算し、当社沿線エリアで植林活動を行っている団体への寄付をはじめとして、さまざまな環境活動に使用します。

計上ポイント総数や寄付の方法などについては、一定期間(年1回を予定)ごとにポスターやホームページなどでお知らせします。今回のポイント累計ならびに使用先については、4月1日からお知らせする予定です。

「エコポイント」は、お客さまに対してポイントを付与するものではなく、ほかのポイントとの互換性はありません。

お客さまに対しては、従来どおり「minapitaポイント」が「土休日ポイント」として1回につき5ポイント貯まります。

他社の PiTaPa カードをご利用の場合は、エコポイントは計上されません。

6. 「大阪府 野生生物保護基金」について

「大阪府 野生生物保護基金」は、大阪府が「大阪府 みどりの基金」内に設置したもので、人と自然が共生する豊かな環境の創造を目的としています。

野生動植物の生息・生育環境の保全・再生・創出や、野生鳥獣の保護、自然環境学習の推進などの取り組みに活用されます。

< ご参考 >

なお、当社では今回、エコポイントからの換算分約137万円に別途約63万円を加え、総額200万円を「大阪府 野生生物保護基金」に寄付しました。

以上